

歯科衛生士口演

(第2会場)

第2会場

HO-01



10月17日(土) 第2会場 13:40~13:50

キーワード：歯周病メンテナンス、歯周病認定歯科衛生士、歯科衛生士、メンテナンスシステム、システム構築の課程と成果、歯周病長期安定、チーム医療、チームアプローチ

【目的】歯周病は慢性炎症性疾患であり、歯周治療後の継続的なメンテナンスが長期安定維持には必要不可欠である。しかし、患者のメンテナンス継続率はスタッフ間で知識・技術の差・対応のばらつきがあり、メンテナンス実施内容に違いが認められる事は多くの歯科医院で課題である。当医院では2015年から10年間、日本歯周病学会の指針を基準としたメンテナンスシステム構築に取り組み、現在年間2500件以上のメンテナンスを実施している。本口演では、10年間のシステム構築過程と課題解決の実際について報告する。

【対象・方法】2015年4月から2025年4月までの10年を対象とした。初期課題として、メンテナンスの未定着・来院中断・急患・予約キャンセルが認められた。

これらに対し①スタッフ全員による目標の共有と定期ミーティング体制の整備 ②歯周病学会ガイドラインに基づく学術・技術のトレーニング ③治療説明およびメンテナンス手順の標準化 ④担当歯科衛生士の導入 ⑤リコールシステム・予約管理の統一 ⑥記録方法の統一を行った。

【結果】メンテナンス件数は年々増加し、現在年間2500件以上の管理体制を確立した。継続率の向上、来院中断や急患対応の減少が認められ、歯科衛生士主体によるメンテナンス体制が構築された。また、スタッフ間の情報共有や技術の統一が進み、患者からの満足度に関する評価も得られ、チーム医療としての機能強化に寄与した。

【結論】メンテナンスシステム定着には、継続的な教育環境・目標の共有・業務の標準化が重要である。

歯科衛生士を中心としたチームアプローチは、継続受診率の向上と質の高い歯周病管理・持続的な診療体制の構築に有効であった。